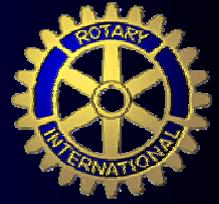


# 会報

## つくば学園ロータリークラブ



### 9月8日例会報告

#### 久保田第7分区ガバナー補佐 来訪！



久保田宏第七分区ガバナー補佐と  
武居宏ガバナー補佐セクレタリーが  
訪問されました。

#### 9月度 奥様誕生祝い



東郷富紀子様 塚越悦子様 黒羽根正美様 綿引勝  
枝様にワインの贈呈がありました。

#### 新入会員卓話

#### 塚越俊祐会員



塚越会員が自身の仕事内容の話をされました。

## ビジター

久保田 宏	様	第七分区ガバナー補佐
武居 宏	様	ガバナー補佐セクレタリー

## ニコニコBOX

久保田 宏	一年間よろしくお願い致します。 第七分区ガバナー補佐
吉岡 昭文	ガバナー補佐の訪問に感謝致します。よろしく御指導をお願いします。
綿引 信之	妻の誕生日祝いありがとうございました。毎年ロータリーからのお祝いで誕生日を思い出します。今晚はワインでお祝いをします。
古本 捷治	先週無断欠席ゴメンナサイ。又、旅日記を会報に載せて頂きありがとうございました。アフガンで酒を飲んだら殺されそうなので諦めました。
鬼沢 善則	遅ればせながら先日、TXにりましたが、座席がよくありませんでした。予算が足らなかったのでしょうか。帰りのバスはクッションが良かったです。ぐっすり寝れました。バスのがいいのでは？
黒羽根 信弘	妻の誕生日祝いありがとうございます。妻の誕生日を思い出させて頂きありがとうございます。
塚越 俊祐	妻の誕生日プレゼントありがとうございました。本日自宅で本人に渡したいと思えます。
本日の合計	¥34,000-
本年度累計	¥321,000-

## 出席率

会員数	出席数	欠席数	無届欠席数	出席率	前週修正率
61名	46名	15名	1名	75.41%	90.16%

## つくば学園ローターアクトクラブより

9月1日来訪されたRAC秋田会長よりクラブ方針が届きました。

クラブターゲット「自ら実行・みんなで協力」

つくば学園RAC 会長 秋田 武史

### 1. クラブ会長方針

2005～2006年度がスタートしまして当つくば学園ローターアクトクラブも創立14年目を迎えることとなります。今年度は男性6名、女性2名、計8名のメンバーでの新年度スタートとまりました。前年度に引き続きまして今期も会長を務めさせていただくことになりました。今年度は前年度、一年間の会長経験を活かし反省点の改善も含めまして更により良いクラブ作りを目指していこうと思っております。それにはメンバー一人一人の協力が不可欠となります。各委員会活動におきましても、一人が委員会を受け持つ体制となりますが、各々のメンバーが自ら実行する意識を持ちそれに対してみんなで協力していく体制をつくっていきたいと考えております。また、新入会員の方がいち早くクラブ及びローターアクト活動に馴染んでいってもらえるよう各メンバーとのコミュニケーションを深め、活動の理解と推進をしていきたいと思っております。また、会員数の増強と資質の強化を常に考えた活動を目指していきたいと思っております。

### 2. 推進事項

- (1) アクト活動を楽しみましょう
  - (2) 自主性、協調性を育みましょう
  - (3) アクト活動を自己成長の糧としよう
  - (4) 多くのアクター、ロータリアンと接する機会を持ちましょう
  - (5) ローターアクトをPRし、会員数の増強を図りましょう。
  - (6) ITを活用しましょう
- メーリングリストによるクラブ内の情報伝達方式
  - ホームページを作成しクラブPRする

### 3. つくば学園RAC担当地区行事について

世界ローターアクト週間（つくば学園RAC、水戸RAC合同ホスト）

日時：平成18年3月12日（日）

内容：国際奉仕プロジェクト（詳細は未決定）

### 4. 地区ローターアクト代表の選出について

- 立候補制
- 輪番制

#### 2005～2006年度

地区ローターアクト代表： 下館RAC 潮田 武彦

地区ローターアクト代表ノミネー：真壁RAC

#### 2006～2007年度

地区ローターアクト代表： 真壁RAC

地区ローターアクト代表ノミネー：土浦南RAC

#### 2007～2008年度

地区ローターアクト代表： 土浦南RAC

地区ローターアクト代表ノミネー：つくば学園RAC

#### 2008～2009年度

地区ローターアクト代表： つくば学園RAC

地区ローターアクト代表ノミネー：笠間RAC

## パキスタン北部山岳地方旅行記2

## 古本捷治会員

古本会員、岡添会員、井田会員達は、8月5日－15日パキスタン旅行に行ってきました！



パキスタン北部山岳地方旅行記 その2

2005年8月5日－8月15日。

古本捷治

### Jeep

皆んなジープと、呼んでる。大きさはパジェロとジムニーの中間ぐらい前列ドライバーと、客二人、後列はコの字型、正面に二人、サイドに三人ずつ、正式には(?) 11人乗り。乗り降りはどこからでも、雨が降ると、巻き上げの窓を、マジックファスナーで固定。現代のらくだである。マークはベンツ、トヨタ、三菱が主流。後でつぶさに車を見せてもらった。エンジンはトヨタ直列4気筒ディーゼル。エアクリナーは日本の一般家庭の炊飯器位の巨大なもの。足回りは、前後輪各10枚ほどの板バ

ネ付き、タイヤは細く、ジョイント部分に、各々15度位傾く半球状のものを使っている。こんな車見たことない。しかも低速から、高速迄粘り強く走る。片側車輪より10cmぐらいの余裕で断崖絶壁を何気なく飛ばしていく。乗っているほうはもう“ナミアミダブツ”“アーメン”“インシユアーラー”と呪文を唱える以外、ストレスを通り越してしまう。一時間ぐらい走っただろうか？油汗と冷汗でべっぴの体が突然止まった。すれ違い出来ない岩ゴロの道で渋滞。降りて見に行くと、何と道路は雪渓で埋まっている。50m位の雪の道をジープが一台一台づつ進んでいる。本当かよ！日本では人間でも通行止めなのに、観光客を乗せたジープが雪渓を渡っている。どのジープもストップする。すぐに朝早くから登ってきた下界の住民、年寄り、若武者子供50人位が総出ですぐ轍を埋め岩をまき、エンヤコラサで、通してしまう。勿論無料奉仕である。しかしそこはそれ、運転手は皆心づけを払う。結構50人ぶんの一日の稼ぎになるらしい。なにしろ一日に200台程のジープが登り、下り通過する。登ったところはドンズマリのセーフルマーク湖、又同じ道を下るしかない。橋などかけたら、雪崩で一シーズンで跡形もなくなるらしい。翌日さらに恐ろしい経験をした。突然道路工事中、道が無い。あるのは幅2m高さ2m位の粘土の壁。30m位。山側は工事中で2m位の深い溝、谷側は、その又500m位の深さの谷。しかもその壁に、20Cmぐらいの轍の跡。反対側から工事人が大丈夫だと手招きしている。どうすんの？小生は降りて渡ろうというと、危険だから乗っていると。どっちが危険なのか。時速1km位で粘土の壁をノロノロと通過する。後続車も続いた“あれくずれるよ！”“大丈夫又誰かが直すから”インシャーラ 一日ジープに乗っていたら万歩計が“36120歩”示していた。



### セーフルマルーク湖

ヤッパリ死ぬ思いをしないと桃源郷は見られない。6時起床で10時にセーフルマルーク湖に着いた。既に50台以上のジープがきている。車を止めるところが無い。いきなり40度ぐらいの斜面を登りパーキング。後から来る車も各々勝手に崖を登りパークする。皆あの恐怖の崖を登ってきたのだ。この世のものとは思えないほどの素晴らしい湖、一面のお花畑、4ヶ月の間で一年分商売をする人々のテントが点在する。下山するまで、雪解け水で生活するらしい。いきなり馬にさせられた。湖周観光開始。馬でパカパカ何んてもんでない。いう事を聞かず、勝手に走ったり振り落とそうとする。でもまじめに手綱をさばく。3200mの高地

(5 ページに続く)

(4 ページから続く)

でハイドウハイドウ、心臓がパクパクする。川を渡るときは馬がいやらせして水をはねる。それもそうだ、子馬に75kgの巨体が乗っているのだから。O氏は大きな馬だったので、快適に飛ばしていた。一周3k、30分、250ルピー、500円。へー高いな！もう金銭感覚は現地人並みになっていた。あー、湖は素晴らしかったですよ。後で飛行機の中からも見たが、綺麗でしたよ。4、200m、0℃峠越えバブサル村は、何となく人々の目がきつい。“パッカル猿村”と名をすぐ覚えた。パキスタンはどこへ行っても、初対面の人に握手を求め、どこから来たの、私名前だれだれ、あなた誰？ イスラムの人々は皆明るくて楽しい。しかしバブサル村だけは何か異様だった。入ったとたんジープ一台の村道に50人以上の人々が、2台のジープを取り囲んだ。しかも柔らかなパキスタン人の目ではない。パキスタン入国以来いつも知らない無数の人々が老若男女、皆な笑顔で挨拶をしていたのに、バブサルの人々は異常だった。他地方の同胞も外国人も同じように敵視している。パキスタン人もドロボー村と呼んでいる。手筈はうまい。最初の方は荷台のロープを切る。二人目はカバーを外す。三人目から徐々に荷物を取る。全部流れ作業らしい。道路は壁で覆われている。多分公道だろう。軍隊が管理しているらしい。しかし両側は高さ2mの積み上げた石塀。幅2m、所々に出入り口。路面は部落の用水路、逃げ場はどこにもない。コンボイを組まないと無事に通過できないらしい。ここに入った旅行者は身包みはがされ、金の無いものは谷に落とされるらしい。最初の橋でチャイを飲みそれ相応の金を払えば問題は無いらしい。私が部落の金持ちの息子をジープに乗せたのが騒動の元らしかった。彼は良い青年だった。自分の家でチャイを振舞いたいと言っていたが、それは断った。彼は歩いて4200mの峠を越え、食料を仕入れ、又歩いて自分の部落へ帰ってきたのだった。兎に角、彼を乗せたのだから俺たちも下の町まで乗せろと群がってくる。その内顔役らしいのが助手席の小生の方から運転手をムズと掴み100ルピーを奪う。それで終わり。たった200円に、10分の騒動。やっと忌まわしい石壁ロードを抜けたが、すれ違う人々の目はパキスタン人の目と違う。皆敵意を含んだ目で旅人を見る。ガイドの説明によるとパキスタンでもここだけだそうだ、よそ者に敵しいのは。兎に角ひどい村らしい。10年ほどまえ、国有林の直径50-60cm位のクルミの木を何百本とブッタギリ売ってしまい下流は、大洪水に見舞われたらしい。しかしカラコルムハイウェイが出来るまではパキスタンと中国を結ぶ道はこの村を通らざるしかないらしかった。軍隊も苦りきってるらしい。



村を抜けるとすぐ工事中の広い道路が続く。途中工事中のトラブルで何度か止まり、やっと4時50分小休止する。すぐ後ろの後続車がこない。25分遅れで着いた。聞くとショベルカーに石を落とされ危うく遭難するところだったらしい。兎に角カラコルムハイウェイに入りチランへ。翌日チランから、キルギットまでもう皆んなへへと殆んど寝てた。ギルギットに入ると驚いた。いたる所に兵士と機関銃を備えたトーチカ。

### 下痢

やっぱかかった。5日目のキルギット。王侯が、造った贅沢な木造3階建ての屋敷を、ホテル“セレナ”、に改造。重厚なホテルだった。5時頃ついたので、皆で庭でバトミントン、卓球、散策等2時間ほど疲れをほぐし、食後は暗いところで満天の星を楽しんだ。寝る前に歯磨きをした。いきなりゲホ“ーときた。腹の中の物が全部出た。O氏は2日前からおかしかったらしい。しかし前夜のチラスで薬に出会ったお陰で、少し持ち直したようだったが、今日はすごかった。大きな岩ごとにバスを止めさせ、お陰で私はゆっくり何回もタバコを吸えた。私もおかしいので、整腸剤を飲んでしたが、そんなもんじゃないらしい。すぐ抗生剤を飲み1日半で回復した。翌日報告すると、“みんなそうです、賢明な判断です”と言われた。しかしO氏はフンザで、又薬にめぐり合う迄、悲惨な旅を続けていました。思うに私は、歯磨きを水道水でやっていたからではないかと思う。I氏ファミリーと、O氏は一切生水を使わなかったと言う。では彼の強烈な下痢はなんだったのか？ストレスですね、と全員ニヤニヤ。もうこの事にはふれない。

●● 次号会報Vol.10に続く！ ●●

## プログラム 予告

- 9月15日(木) 親睦例会(会員各位の親睦を深めましょう!)
- 9月22日(木) 移動例会  
霞ヶ浦環境科学センター 12:00~ 例会開始  
(AM 11:00 グランド東雲 Pに集合)
- 9月29日(木) つくば学園ロータリー基金奨学生卓話  
キン ワイン シ さん(筑波大学院生)
- 10月 6日(木) 理事会 11:00~ 於・オークラ4F  
会長挨拶 野堀 喜作 会長  
新入会員卓話 門脇 厚司 会員

### ■編集後記■

総選挙も終わってみれば、自民党の一人勝ち。というよりも小泉総理の長年の熱い思いが国民に伝わったのでしょうか?それとも野党があまりに不甲斐無いか?

なにはともあれ、ここ数年の日本丸の舵取り役が決まりました。株価も上昇中で、これからいいことあるかも?いや、いいことがあってほしい今日この頃。馬券はホリエモン買おうと。

ゆうこう クラブ会報委員長 佐藤 裕光

9/11の選挙に行かれた方はどのような感想をお持ちになったでしょうか。「無党派層の乗り換え」とか「絶対安定多数」とかの選挙結果では無く、「投票所の様子」にです。衆議院議員小選挙区と比例区、最高裁判所裁判官国民審査、茨城県知事選挙、県議会議員つくば市選挙区補欠選挙と5回も投票用紙を書くものですから、入れ間違いをしそうになったり、途中で出口に向かったり、いろいろな人を見受けられました。そのせいなのか、はたまた投票率が高かったせいなのか、投票所は結構混雑していました。そのうち、安定して使いやすい「電子投票システム」が出てくれば、さらなるスピードと投票率のアップになるんですよ。きっと。

クラブ会報委員 齊藤 修一

例会日 木曜日 12:30~13:30

例会場 「オークラフロンティアつくば」つくば市吾妻1丁目1364-1

ホームページもご覧下さい  
<http://www.46gama.com/>

## つくば学園ロータリークラブ

〒305-0047

茨城県つくば市千現2丁目1番6 つくば研究支援センターA28

電話 029-858-0100

FAX 029-858-0101

Email:gakuenrc@axel.ocn.ne.jp



## 超我の奉仕